

IV 拠点校における成果と課題

・成果と課題

令和2年度から拠点校として、「未来の岡山と世界の Well-being（すべての人が身体的・精神的・社会的に幸福）の実現に貢献するグローバル・リーダーの育成」をテーマに取り組んだ。本事業推進にあたり、育成すべき資質・能力として、「幅広く深い教養」「課題発見・解決能力」「新たな価値を創造する力」「主体的に行動する力」「他者と協働する力」「自他を尊重する心」を挙げ、その育成のために、「未来航路」（総合的な探究の時間）、「SOZAN STEAM」（学校設定科目）、「SOZAN 国際塾」、「GLOBAL STUDIES」の4つを研究開発単位として設置した。

指定期間の始まりとコロナ禍が重なり、海外研究をはじめ、多くの事業が中止または大幅に縮小となり、オンラインによる実施や計画の修正を行うこととなった。最終年度こそ、制限がなくなったものの、SGH指定時から継続していたオーストラリア姉妹校での研修、海外修学旅行などでの成果の蓄積が薄まった。また県外への移動制限が実施された時期もあり、生徒の活動はオンラインに頼らざるを得なくなり、実体験でこそ身に付くはずの資質・能力の育成に影響があったことも事実である。

このような中で、今年度は制限が解除され、少しずつ従前のように取り組むことができるようになった。結果的に、皮肉にも「Well-being」について考える機会となった。4つの研究開発単位についての成果と課題については、それぞれの単位で述べたとおりである。ここでは、課題研究と教科教育の関係性について述べる。

課題研究と教科教育の関係性について、本校ではSGH指定時から考察している。SGH指定時の課題研究は対立軸のある事象を研究テーマとしていたが、WWL指定の際にSDGsの17のゴールに関わるテーマとした。このことは研究テーマの変更を意味しない。課題研究は課題意識をもとに先行研究等を読み込み、資料やデータを収集・分析し、序論、本論、結論の構成で論文を作成するものである。17のゴールを実現するために課題研究を進めていくと、その実現を阻害する要因が複雑に絡み合っており、対立していることに気付く。それを解決に導くためには、教科教育で学んだ知識・技能が求められる。当然であるが、課題研究と教科教育は相互に補完し合っている。改めて生徒にこのことを気付かせる必要がある。本校では、「SOZAN STEAM」を1年時に実施し、そのきっかけとしている。「SOZAN STEAM」は試行錯誤を重ね、ようやく形になりつつあるが、まだ道半ばである。さらに、教科教育との関係性を可視化していく必要がある。世の中にある様々な課題を帰納法的に分析し、分析した内容をある程度一般化した上で、具体的な新たな課題に対応できる資質・能力を育成していかなければならない。そして、そのために高校生が「課題研究」に取り組む土壌をつくっていきたい。

さて、今年度も本校独自の「6つの資質・能力に関するアンケート」を実施した。資料1のとおりである。大きく分けると認知的スキルに該当する「1」～「16」、非認知的スキルに該当する「17」～「29」、英語でのコミュニケーション力に該当する「30」「31」、「SOZAN STEAM」の成果・課題に該当する「32」～「35」である。

1、2年生とも、すべての項目で、平均値の上昇が見られ、上昇率は昨年度よりも高い。非認知的スキルに該当する「17」～「29」については、微増であるが、2年間という期間で見えていくべきだろう。今年度の特徴としては、1年生の「32」～「35」が昨年と比較して明らかに高い数値となっていることである。これについては、「SOZAN STEAM」に対する生徒、教員の意識の変化だととらえているが、さらに研究が必要である。

次に、GPS-Academic (Benesse) GPS-Academic (資料2 表1～7)については、昨年度(現3年生)は、A評価の人数に増加はあまり見られなかったが、今年度は批判的思考力を中心にすべての分野で大幅に上昇したことが表7から明らかである。批判的思考力は「情報を抽出し吟味する力」「論理的に組み立てて表現する力」に該当し、この分野の数値が上昇したこ

とと課題研究の在り方についてはさらに研究の余地がある。

今年度でWWLの指定期間は終わり、「自走」へと進んでいくことになる。SGH及びWWLで蓄積されたものを発酵させ、大学入学後に成長し、社会に出た後に「自走」できる生徒を育てていきたい。

資料1

【6つの資質・能力に関するアンケート 一覧表】

選択肢：1.まったくあてはまらない/2.あまりあてはまらない/3.ある程度あてはまる/4.あてはまる

設問 番号	設問内容	1年生				2年生					
		1年4月実施		1年2月実施		1年4月実施		1年1月実施		2年2月実施	
		平均	資質・能力	平均	資質・能力	平均	資質・能力	平均	資質・能力	平均	資質・能力
1	日本の歴史や伝統文化について理解している。	2.9	幅広く深い教養	3.1	幅広く深い教養	2.7	幅広く深い教養	2.9	幅広く深い教養	3.2	幅広く深い教養
2	世界の多様な文化や価値観・世界観について理解している。	2.8		3.0		2.7		3.0		3.1	
3	世界における日本の立場や役割を理解している。	2.7		2.9		2.7		2.8		3.0	
4	様々な情報源から、自身の学びに必要な情報や意見等を収集し、その信頼性を評価することができる。	3.0		3.1		2.9		3.0		3.2	
5	人類が目指す平和で民主的な社会について理解している。	3.0	2.9	3.1	3.0	2.9	2.8	2.9	2.9	3.1	3.1
6	現状を分析し、グローバルな視点で課題を発見することができる。	2.8	課題発見・解決能力	3.0	課題発見・解決能力	2.6	課題発見・解決能力	2.8	課題発見・解決能力	3.0	課題発見・解決能力
7	課題を解決するための知識や技能を有している。	2.6		2.8		2.5		2.6		3.0	
8	問題把握や課題解決に必要な情報を収集することができる。	3.1		3.2		3.0		3.0		3.3	
9	論理的に課題の解決策を考え、評価・検証を行うことができる。	2.9		3.0		2.8		2.8		3.1	
10	適切な手段・方法を用いて、成果や考え等を発信することができる。	3.0	2.8	3.0	3.0	2.9	2.8	2.9	2.8	3.2	3.1
11	様々な課題の関連性から新たな課題を設定することができる。	2.9	新たな価値を創造する力	3.0	新たな価値を創造する力	2.7	新たな価値を創造する力	2.8	新たな価値を創造する力	3.1	新たな価値を創造する力
12	各教科で習得した知識や技能の関連性を見出すことができる。	2.9		3.1		2.8		2.9		3.2	
13	各教科で習得した知識や技能を課題解決にいかすことができる。	3.0		3.1		2.9		2.9		3.1	
14	自分やグループの意見を論理的に説明することができる。	2.9		3.0		2.7		2.9		3.1	
15	課題解決に向けて明確なビジョンを示すことができる。	2.8		2.9		2.6		2.7		3.0	
16	他者と協働し、創造的に課題を解決することができる。	3.1	2.9	3.2	3.1	2.9	2.8	3.0	2.9	3.2	3.1
17	自己の活動を振り返り、次の活動に向けて具体的な目標を設定することができる。	3.0	主体的に行動する力	3.1	主体的に行動する力	2.8	主体的に行動する力	3.0	主体的に行動する力	3.2	主体的に行動する力
18	岡山・日本・世界の課題を解決しようという意欲がある。	2.9		2.9		2.9		2.8		3.0	
19	社会の諸問題を自らの問題として主体的に考えることができる。	2.9		2.9		2.8		2.9		3.0	
20	課題解決に向けて、粘り強く取り組むことができる。	3.1	2.9	3.1	3.0	3.0	2.9	3.0	2.9	3.2	3.1
21	他者の考えや思い、価値観について誠意を持って理解しようとするすることができる。	3.3	他者と協働する力	3.3	他者と協働する力	3.2	他者と協働する力	3.3	他者と協働する力	3.4	他者と協働する力
22	メンバーとビジョンを共有することができる。	3.2		3.2		3.1		3.1		3.2	
23	課題解決に向けて協働して取り組むよう働きかけることができる。	3.1		3.1		3.0		3.0		3.2	
24	メンバーの資質・能力や適性をいかにように働きかけることができる。	3.0		3.0		2.9		3.0		3.1	
25	メンバーの中で自己の果たすべき役割を考え、それに対して責任ある行動を取ることができる。	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.3	3.3
26	様々な状況において、自己の感情をコントロールすることができる。	3.2	自他を尊重する	3.2	自他を尊重する	3.1	自他を尊重する	3.1	自他を尊重する	3.2	自他を尊重する
27	自己の興味・関心、適性などを把握している。	3.2		3.2		3.1		3.2		3.4	
28	将来を見通して主体的に自己の生き方を考えることができる。	3.0		3.0		2.8		3.0		3.1	
29	自ら進んで、互いに尊重しあえる人間関係を築くことができる。	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.1	3.3	3.2
30	英語でコミュニケーションを取ることができる。	2.4	他の	2.5	他の	2.2	他の	2.4	他の	2.5	他の
31	英語でプレゼンテーションやディスカッションをすることができる。	2.3	2.4	2.4	2.5	2.0	2.1	2.3	2.3	2.4	2.4
32	授業を通して、地域における身近な問題の中から自らの課題を見出し、社会の形成者としての在り方や生き方について考えとともに、文理両方のアプローチから課題を探究する方法を身につけることができた。		S S T O Z E A A M N	3.0	S S T O Z E A A M N		S S T O Z E A A M N	2.7	S S T O Z E A A M N		S S T O Z E A A M N
33	授業において、学習課題に関する幅広い知識を獲得し、課題発見や課題を探究するために必要な知識や技能を身に付けようとした。			3.2				3.0			
34	授業において、課題を幅広い視点で捉え、総合的に思考的に表現しようとした。			3.2				3.0			
35	授業において、課題や事象に徹底的に向き合い、自己の学習調整を行いながら主体的に取り組もうとした。			3.2	3.2			3.0	2.9		

表 1

批判的思考力									
	総合			情報を抽出し吟味する			論理的に組み立てて表現する		
	R4年度入学		R5年度入学	R4年度入学		R5年度入学	R4年度入学		R5年度入学
	1年5月	2年11月	1年5月	1年5月	2年11月	1年5月	1年5月	2年11月	1年5月
S	1%	5%	3%	5%	9%	4%			
A	39%	60%	38%	32%	45%	25%	18%	48%	44%
B	56%	34%	54%	37%	30%	34%	71%	46%	49%
C	4%	1%	5%	25%	14%	34%	11%	6%	8%
D	0%	0%	0%	1%	2%	2%			

表 2

協働的思考力									
	総合			他者との共通点・違いを理解する			社会と参画し人と関わりあう		
	R4年度入学		R5年度入学	R4年度入学		R5年度入学	R4年度入学		R5年度入学
	1年5月	2年11月	1年5月	1年5月	2年11月	1年5月	1年5月	2年11月	1年5月
S	3%	3%	1%	7%	9%	4%			
A	51%	60%	46%	37%	48%	34%	26%	34%	28%
B	44%	35%	49%	39%	28%	38%	69%	58%	63%
C	3%	2%	4%	16%	14%	22%	5%	8%	9%
D	0%	0%	0%	1%	1%	2%			

表 3

創造的思考力									
	総合			情報を関連づける・類推する			問題をみだし解決策を生み出す		
	R4年度入学		R5年度入学	R4年度入学		R5年度入学	R4年度入学		R5年度入学
	1年5月	2年11月	1年5月	1年5月	2年11月	1年5月	1年5月	2年11月	1年5月
S	0%	0%	0%	1%	1%	1%			
A	23%	37%	26%	16%	26%	18%	19%	20%	15%
B	71%	62%	69%	45%	52%	49%	69%	73%	78%
C	6%	1%	5%	36%	20%	28%	13%	6%	7%
D	0%	0%	0%	1%	1%	3%			

表4

批判的思考力									
	総合			情報を抽出し吟味する			論理的に組み立てて表現する		
	R4年度入学	R3年度入学	R2年度入学	R4年度入学	R3年度入学	R2年度入学	R4年度入学	R3年度入学	R2年度入学
	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月
S	5%	2%	3%	9%	8%	15%			
A	60%	39%	47%	45%	35%	33%	48%	13%	16%
B	34%	52%	42%	30%	37%	30%	46%	69%	61%
C	1%	7%	8%	14%	19%	20%	6%	18%	23%
D	0%	0%	0%	2%	2%	1%			

表5

協働的思考力									
	総合			他者との共通点・違いを理解する			社会と参画し人と関わりあう		
	R4年度入学	R3年度入学	R2年度入学	R4年度入学	R3年度入学	R2年度入学	R4年度入学	R3年度入学	R2年度入学
	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月
S	3%	2%	9%	9%	11%	20%			
A	60%	58%	54%	48%	40%	36%	34%	33%	30%
B	35%	38%	34%	28%	36%	32%	58%	63%	63%
C	2%	2%	3%	14%	11%	11%	8%	3%	6%
D	0%	0%	0%	1%	2%	2%			

表6

創造的思考力									
	総合			情報を関連づける・類推する			問題をみいだし解決策を生み出す		
	R4年度入学	R3年度入学	R2年度入学	R4年度入学	R3年度入学	R2年度入学	R4年度入学	R3年度入学	R2年度入学
	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月
S	0%	2%	3%	1%	2%	20%			
A	37%	36%	38%	26%	29%	36%	20%	20%	28%
B	62%	56%	55%	52%	43%	32%	73%	69%	64%
C	1%	7%	3%	20%	22%	11%	6%	11%	7%
D	0%	0%	0%	1%	4%	2%			

表7

S・A割合の変化									
	批判的思考力(総合)			協働的思考力(総合)			創造的思考力(総合)		
	1年5月	2年11月	上昇率	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月	2年11月
R3年度入学	40%	41%	1%	54%	60%	6%	31%	38%	7%
R4年度入学	40%	65%	25%	54%	63%	9%	23%	37%	14%
R5年度入学	41%			47%			26%		